

前期学校評価特集号

1学期末には、児童・職員だけでなく、保護者・地域の皆様から学校評価アンケートに答えていただきました。

なぜ、学校では学期末にこのようなアンケートを実施するのでしょうか。

学校教育法、学校設置基準等の法的根拠や県教育委員会の指導があるからですが、もちろんそれだけではありません。

学校評価によって、職員だけでは気付かない問題点を指摘して欲しい。
学校評価を通じて、保護者や地域の方に、もっと学校を知って欲しい。
もし良くなっているという評価がいただけたら、全職員で喜びたい。

このような願いがあるからです。この特集号は、普段よりやや固い内容になっています。しかし、上記の願いを酌んでいただき、熟読して、ご意見をいただければ幸いです。学校をより良く改善していくためには、地域ぐるみの行動連携が不可欠です。よろしく願いいたします。

今回の評価結果の特徴は、次の点です。

- A 児童の自己評価は、全項目、昨年後期より向上している。満足度が高い。
- B 保護者評価も、向上している項目が多く、特に「信頼できる学校」は過去最高の評価を得た。
- C 職員は、昨年より厳しい評価をしている項目が多い。

ABは、大変うれしい結果でした。

児童の結果は、「目標や基準を明確にして評価させた」こと、「児童のやる気を高め、力を発揮させる場を増やした」ことなどが理由だと考えられます。保護者の皆様も、学校の取組をよく見てくださっているのだと有り難く思いました。

ただ、職員は昨年度に比べ、まだ満足していません。この子ども達なら、もっと力を伸ばせると考えています。

この結果を全職員で確認し、喜び、そして2学期からの改善策を考えました。その主な内容が、次ページから載っています。

また、後半は保護者の皆様からいただいたご意見に、Q&A形式で答える内容にしました。

ご覧になって、学校までご意見ご感想などをお寄せいただければ有り難いです。9月12日(水)の1日参観日には、いつものようにアンケート用紙を出しておきます。そちらにご記入いただいてもかまいません。学校と家庭・地域で、子どもをより成長させるという目的の下に、協力して行動していこうではありませんか。



前期学校評価 4者比較

学校評価の中心となる、4者の比較結果が下の表です。ゴシック太字は、ほぼ満足していると考えられる数値です。 は、0.3以上18年度後期より向上・下降している数値です。「分析」のようにわたしたちは考えました。(強く思う 6 かなり思う 5 ... 全く思わない 1)

	評価項目	児童	保護者	地域	職員	分析
1	グランドデザインにある教育目標や重点目標、重点課題などは子どもたちの実態や保護者・地域の願いに合ったものである。		4.5	<u>4.9</u>		
2	中川小学校は学校づくりに努力が見られ、信頼できる学校である。(いじめをなくそうとしているよい学校だ)	5.2	5.0	5.3		3者とも評価が高く、特に児童と保護者が伸びている。
3	学校の雰囲気が良く、子どもは楽しく学校生活を送っている。	5.4	4.9	5.1		昨年より評価がよくなっている。
4	全校テスト・チャレンジ計算(スピーチ)などは、基礎基本の定着に有効で、子どもの学力は伸びている。	5.2	4.8	<u>4.8</u>	4.8	地域は実態がよく分からないのだろう。4者がよくそろっている。
5	生活科や総合的な学習の時間で、すすんで問題を見つけ、解決しようとする力が育っている。	5.2	<u>4.3</u>	<u>4.6</u>	<u>4.1</u>	児童の満足度に比べ、特に職員の満足度が低い。
6	異年齢集団活動(レッツゴーグループ活動)を子どもは楽しいと感じ、思いやりや人間関係づくりに役立っている。	5.4	4.7	5.4	5.2	昨年に続き、4者の満足度がそろっている。
7	あなたのお子さんには「思いやりの心」は育っている。	5.0	4.6	<u>4.9</u>	4.6	我が子に限定して、保護者の評価が上がった。
8	あなたのお子さんには「命を大切にする」態度は育っている。	5.3	4.6	5.0	4.2	職員だけが、満足度が低い。
9	あなたのおさんは「積極的に運動に取り組む」ようになっている。	5.3	4.8	5.2	5.2	4者とも評価が高い。
10	生活習慣や食生活の改善に、学校と連携して、家庭でも取り組んでいる。(はやね・はやおき・テレビゲームなど規則正しい生活をしている)	5.0	<u>4.3</u>		5.2	児童・職員の評価に比べ、保護者の評価が依然として低い。
11	学校・学級便りや各種説明の機会で、学校(学級)の考えや取り組みが良く分かる。		4.7	5.7	4.9	3者の満足度がそろってきた。
12	教職員は優しく温かく、時には厳しく子どもに適切に接してくれる。	5.5	4.9	5.1	4.6	職員は、自己に厳しい評価をしている。
13	子どもの安全管理や緊急の事態への対応を考えている。		4.8	5.3	4.4	職員の評価が低い。まだ満足していない。
14	あなたは、時間を守る、かってなおしゃべりをしない、忘れ物をしないなどの学習のきまりをまもっていますか。(学習規律が守られているか)	5.0			4.3	職員の評価が低い。
15	あなたの(お子さん)は、あいさつを礼儀正しく言い、人に「ありがとう」と言えるようになっている。	5.5	4.6	5.1	4.3	職員以外の評価は高く、特に児童は大変向上している。

学校評価結果からの改善策

前述の結果を受け、次のような課題について検討し、原因・改善策を考えました。

	課題	改善策
児童評価から	1 全ての項目の評価が高く、昨年後期に比べて向上した評価が多い。何が子どもを変えたのか。	<ul style="list-style-type: none"> ○目標や基準を明確にして評価させた。 ○やる気にさせて、子どもの力を発揮させた。 子どもへの説明の仕方を共通理解する。 ・評価数値4、5、6の基準を具体例を出して説明してもよい。ただし、アンケート時に「よくやった」等の評価語は使わない。
保護者評価から	2 「信頼できる学校」の評価が過去最高になっている。どのような取り組みが、信頼につながったのか。	<ul style="list-style-type: none"> ○閉校や行事で、来校していただく機会が増えた。 ○各種たよりも充実し、それを読んでもらえるようになった。 この取組を継続していく。
	3 生活習慣・食生活の改善が、依然低いままである。ブレイクスルーを起こせないか。	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの文言で、聞く内容が複数になっている。 聞く内容を整理し、子どもの姿で評価していただく。 ・「あなたのお子さんは、早寝、早起き、朝食を摂るなどができるようになっていきますか。」
地域評価から	4 生活科や総合的な学習の時間の取組を、地域の方にも評価していただくために、どうすればよいか。	<ul style="list-style-type: none"> 発表会やゲストティーチャーとして、できるだけ子どもの姿を見ていただく。 アンケートに生活科・総合の便り（みどりの新発田っ子だより）を付け、参考にさせていただく。
4者比較から	5 生活科・総合の「問題発見力・解決力育成」で、児童は高い評価なのに、職員はきわめて低い。職員の不満の原因は何か。	<ul style="list-style-type: none"> 職員への聞き方が、厳しい内容になっている。 「～児童の割合を70%以上にしたか」に直す。 ○後期は、児童に力が付き、評価もよくなると考えられる。
	6 学習規律への評価で児童は大変向上している。しかし、授業参観評価や職員評価は低めである。全校として、改善に取り組める方法はないか。	<ul style="list-style-type: none"> 「落ち着いた授業」の内容を検討する。 教頭提案 「忘れ物」については対策研修を行う。 学力向上P担当 <li style="text-align: right;">8月2日に実施

この他にも、次のような提案がされました。2学期からどんなことが変わったか、お子さんに聞いてきてください。

「命を大切にす」規準、昨年度確認された内容文書を再配布する。

「あいさつを礼儀正しく言い、人に『ありがとう』と言える」の判定基準を提案する。

SSTで指導したスキルを、児童に分かるように掲示する。

言葉づかいを意識させるため、「～さん」付けを再指導する。特に清掃時やレッツゴーグループ活動では、職員がついて指導を徹底する。

1限を8:35スタートできるよう、学級で各種対策を取る。（スピーチを給食時に、今日の連絡を前日の帰りの会で...等）

学校評価アンケート保護者へのQ&A (その1)

Q1 子どもの考えで変わりますが、「学校へ行きたくない」と言うことがあります。どのように対応すればよいでしょうか。

担当：渡部栄二

A 子どもが「学校へ行きたくない」と訴える場合、様々な理由が考えられます。

- ・宿題などをやっていない。または、やりたくない活動がある。
- ・夜更かし、朝寝坊、体調不良等で、学校へ行く気力がわかない。
- ・「いじめ」など人間関係で悩みがあり、そこから逃避したいと考えている。

大切なのは、どのレベルの理由から学校へ行きたくないと言ったのか、大人がきめ細かく内面を見取ることです。そのためには、普段から子どもと話し、何を考えているのか理解しなければなりません。ぜひ、次のような対応をしていただければと思います。

連絡帳や学級だよりに目を通し、今、学校で何をしているか子どもと話す。

元気がなかったり無口になったり、子どもの様子に変化があったら、担任に聞いてみる。

「学校に行きたくない」と言い出したら、落ち着いて話を聞く。

つまり、行きたくない状態になる前の支援と、冷静な行動が重要です。どんな悩みも、芽のうちなら摘み取るのは簡単ですが、育てからは長期の治療が必要になります。の対応がしにくいとお考えの方がいらっしゃるかもしれません。しかし、これが最も有効です。担任は、保護者の皆様からの情報が一番有り難いのです。学校と家庭が連携していれば、子どもが曲がることはまずありません。どうか、気軽にご相談ください。

Q2 まだ学校の様子、教育内容がよく分かりません。特に生活科・総合的学習は評価しにくいです。学校は、どんな発信を考えていますか。

担当：石井亜希子

中川小学校では、子ども達の学習の様子を参観してもらう機会を月に1回程度設けています。年に6回の授業参観の他、運動会やマラソン大会、中川大祭、中小祭りなどがあります。また、年間を通じて行われる発表朝会で、各学年が順番に生活科・総合的な学習の時間の取組を知らせています。これらは、学校から案内文書を各家庭に配布するか、学校便りに予定として載っています。このような機会にぜひ足を運んでいただき、できるだけ子ども達の様子をご覧いただきたいと思います。もちろん、このような機会だけでなく、子ども達の様子を見たいと思われたときは、いつでもご来校ください。

また、生活科や総合的な学習の時間には、学校の中だけでなく地域に出て学ぶ機会を設定しています。そのときに、ゲストティーチャーとして子ども達に御指導いただくこともあります。担任が、「子ども達に教えてくださる方、一緒に活動してくださる方」を募集した際には、名乗りを上げてくださるとありがたいです。ちなみに今年度の1学期には、1・2年生は花や野菜の苗植え、5年生は米作りのことを地域の方に教えていただきました。

しかし、アンケートを書くときまでに残念ながら子ども達の様子をご覧いただけなかったという方もいらっしゃるかもしれません。そのような場合でも少しは子ども達の様子が分かるように、地域評価者の方には生活科・総合的な学習の時間の活動が載っているお便りをアンケートと一緒にお渡しする予定です。

以上のようなことから、学校の様子や教育内容を理解していただき、アンケートで評価していただきたいと思います。

(次号へ続く)